

ヴォリュームアキュライザーの活用(1)
—TANNOY III LZ ネットワークへの適用—

1. 始めに

今回からシリーズを改めて、アンプのヴォリューム以外に種々の応用を試していきます。まず、第三のリスニングルームのシステムのスピーカーである TANNOY III LZ のネットワークに適用してみます。

2. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の試聴方法

第三のリスニングルームの TANNOY III LZ のシステムについては、すでにヴォリュームアキュライザーの導入(6)で Leak Point 1 に応用しています。

今回、TANNOY III LZ のネットワークに適用してみます。

TANNOY III LZ の構成は次のとおりです。



ユニット構成



キャビネット背面



ネットワーク構成

背面には、High と Low のレベル調整ノブと高域の調整を行う Roll off の調整ノブがあり、High と Low のレベル調整ノブのレゾナンスチップを剥がして VRA-7 を貼りつけます。この調整ノブはつまみ状になっており、VRA-7 との接触面積は大きくはありません。

せん。



再生ルートは次のとおりです。

CD 再生

Marantz DV-9500→Leak Point1→Pilotone 5881pp→TANNOY III LZ

BS 放送録画

DMR-BZT910→Leak Point1→Pilotone 5881pp→TANNOY III LZ

CD はいずれも演奏会で聴いている下記を試聴しました。

Harumonia mundi HMM925296

ベートーヴェン ピアノと管楽器のための5重奏作品16
アンサンブルディアローギ

Evidence EVCD015

ベートーヴェン Sonata for cello and piano No. 1
フランソワ＝フレデリック・ギィ (ピアノ)
グザヴィエ・フィリップ (チェロ)

BS 放送録画は下記を視聴しました。

シューベルト ピアノ5重奏曲「鱒」
アウラータクインテット
ハイドン チェロ協奏曲第1番 (編曲版)
ウエン・シン・ヤン・N響メンバー

3. ヴォリュームアキュライザーの試聴結果

このシステムの音は、ヴォリュームアキュライザーの導入(6)で報告したとおりですが、CD と BS 放送録画では前者の方が朗々と鳴る印象です。

High と Low のレベル調整ノブに VRA-7 を貼ってみました。CD と BS 放送録画ともわずかに音の肌理が細くなったかという程度で、はっきりとした効果があるとは言えないくらいです。

キャビネットを開けてみたことはないのですが、どうやら調整ノブにヴォリュームが

直接付いているようなネットワークではなさそうです。

4. まとめ

TANNOYⅢLZにおいて、ネットワークのレベル調整ヴォリュームへの多少変則的なVRA-7の貼り方でしたが、顕著な効果があるとは言えません。

以上